

2022(R4)年度 学 校 評 価

学校法人信濃キリスト教学園
幼保連携型認定こども園
大町幼稚園

当幼稚園のホームページにて同学校評価を公表しています。HPアドレスは次の通りです。

<http://www.omachi-yochien.com>

2022（R4）年度 学校評価 2022 年度「大町幼稚園 学校評価」を終えて

大町幼稚園では園則に定めているとおり、学校教育法に基づいて 2022 年度の活動に関して学校評価を実施しました。ここにその結果を公表し、ご報告いたします。

評価に際しては、その客観性を高めるためにまず保護者の皆様を対象にアンケートを行い、それに「幼稚園運営」を加えた計 10 項目に教員が自己評価・点検をしたものをそれぞれ集計、分析し、学校関係者評価委員の方々に各項目に関して更に評価をしていただきました。

お忙しい中を関わって下さった皆様に、この紙面を借りてお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が国内で初めて確認されたのが 2020 年 1 月。2020、2021 年度の 2 年間は、未知で驚異的な感染力を持つこのウイルスの感染拡大防止対策の下で多くの忍耐と制限を強いられ、教育現場では混乱と困惑が生じました。時を経てウイルスの特性が変化し、保健医療体制が構築されて「ウィズコロナ」という考え方に向けて国の政策が展開（緩和）されるようになりましたので、園内でも感染防止対策を取りながら行事の持ち方を従前の形に戻すべく模索を続けました。その結果、2022 年度は保護者お二人に参加していただける行事が増え、園とご家庭が同じ空間で、映像ではなく生のお子さんの姿を見て成長を喜びあえたことは嬉しいことでした。その一方で、敬愛する早川民次園長が闘病の末に天に召されるというかつてない悲しい出来事が 1 月にありました。しかし、そんな困難な状況も保護者の皆様や信濃キリスト教学園、大町教会などの関係するすべての方々が祈り、悲しみをともに負って下さったおかげで乗り越えることができました。皆様は神さまが私達のためにご用意下さった大きな支えでした。今、激動の 2022 年度を振り返り、あらためて皆様に感謝するとともに、この 1 年の全ての出来事を心の糧にして前に進みたいという思いを強くしております。

アンケートにおきましては本園の教育方針や運営方針に対する深いご理解と厚い信頼、そしてたくさんの暖かい励ましのお言葉をいただきました。同時に、疑問や要望に関しては大いに参考にさせていただき、できることは 2023 年度から改善をしていきます。

こどもたちは神さまからお預かりしたかけがえのない大切な存在です。私達の力が及ばないこともあるかとは思いますが、早川園長の遺志を継ぎ、より一層質の高い教育・保育を目指して教職員一同、精一杯力を尽くしてまいりますので、これからもご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

2023 年 4 月

学校法人信濃キリスト教学園

幼保連携型認定こども園 大町幼稚園

園長 岑村 広美

1 教育方針・教育目標の理解

◆2022年度の取り組み

- ・教育方針（いつくしみの保育）と教育目標（元気な体・優しい心・考える力）の理解を深め、保育内容に活かす。
- ・幼稚園はキリスト教保育を基盤とした教育方針を、分かりやすく伝えているか。
保護者アンケート（Q1）

◆評価と分析

（教師の評価 4点満点中 平均点 3.3 ）

- ・理解を深め保育内容に活かすと言うより自信を無くす日々が多く、この子にとってこれでいいのかと葛藤の日々でした。
- ・一年を通して遊びの中で思いを伝え受け止めながら子ども同士で育ち合うことを目標に努力した。
- ・いつくしみの保育を意識して子どもたちと関わった。
- ・行事前子どもの活動が多く大変な時期もあったが、できるだけ散歩をしたり、外で体を動かし遊び、お友だちの気持ちを一緒に考えたりする時間を持った。
- ・園長が作られた教育方針と大町幼稚園のしおりの文章と向き合い、園長召天後も、「大切なものを見失わない」ために模索し続けた。今後も模索し続けたい。

（保護者の評価 4点満点中 平均点 3.4 ）

- ・家は無宗教ですが、キリスト教のことを押し付けるのではなくさわやかに伝えていると思う。
- ・新聞やひかりの子を通して共有、十分だと思う。
- ・園長先生がいらっしゃらなくなり先生方も本当に大変な中笑顔で子どもたちに向き合って下さり感謝します。またキリスト教保育のおかげで死をやさしく理解できその点は本当に良かったと思います。
- ・長引くコロナ禍、園長の他界と類を見ない大変な年だったにも関わらず副園長先生はじめ先生方には最善を尽くす保育に当たっていただいて感謝しかありません。我が家はこれから何年もお世話になる予定ですので、これからもよろしくお願いいたします。
- ・子どもたちものびのびしているし、先生方も仲がよさそうでとてもいい雰囲気だと思います。
- ・大町幼稚園で子どもたちを育てることができ本当に良かったです。どの先生もとても明るくそして愛をもって保育してください。今の世の中保育者が子どもをキズ付けたなどの報道がありますが、わたしは一度もそういった不信感を持ったことがありませんし、この幼稚園があったが為にそんなことがあることが別の世界の事のように。どうかこの先も愛溢れる大町幼稚園であってほしいと願っております。長い間本当にありがとうございました。
- ・キリスト教保育の考え方を私自身何となくでしかわかっていませんが、愛のある保育であればいいかと。

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 4)

・一月末に園長が召天するという危機的状況乗り越え、教職員は悲しみの中でも園長の意志を受け継ぎ保育に専念できていた。

.....➤.....➤.....➤

◆改善の具体的方策

昨年度 1 月末、園長の召天により副園長を中心に、牧師にも助けていただきながら年度末を無事迎えることができました。至らぬ点も多くありましたが、保護者の皆様に暖かく支えていただきありがとうございました。

2023 年度からは新園長を中心に、新たな牧師先生とともに皆様と歩んでまいります。よろしくお願いいたします。

2 キリシト教保育

◆2022年度の取り組み

- A・教師自身見えないものに目を注ぎ、「あたたかなまなざし」で子どもを受け入れる
キリシト教保育の学びを深める。
- B・日々の礼拝やキリシト教の行事を通して、大切な人間関係の基礎を育てることを目指す。

◆評価と分析

A（教師の評価 4点満点中 平均点 3.3 ）

- ・「あたたかなまなざし」の言葉ではできるだけやるように心に止めて子どもに対して接してきたが、キリシト教の学びが浅いと思いました。
- ・チャプレン、園長、副園長、主任の話で深めることができた。大町教会員のお話やお祈りがいつも心に残っているため、できれば他の先生にも聞いてほしい。
- ・職員会でキリシト教の学びの時間を持つことができるのが良い。
- ・今年度もキ保の研修がリモートになってしまったが、その分教師間で話し合う機会となった。
- ・クラスの子ども一人ひとりのあたたかなまなざしを大切にできた。
- ・園長先生のことを通して、「見えないけれどいつもそばにいてくださる神さま」を身近に感じることで意識も高まったと感じる。
- ・園長の話を通して聖書のお話の理解を深められたと思う。礼拝の話に活用するだけでなく、子どもへのあたたかなまなざしに近づけたら良いと思う。
- ・もう少し自分自身がキリシト教について学ぶ必要がある。

B（教師の評価 4点満点中 平均点 3.1 ）

- ・ひよこ組の礼拝はまだ難しいと感じた。
- ・礼拝等を通して、子ども同士いろいろな立場を経験したり、その時の思いを感じたりすることができた。わかりやすい内容の話では、人権などに結び付けて話をすることができた。
- ・はと組にとっては初めてのキリシト教や、それに関する行事で、わかりやすく伝えようと努力したが、人間関係の基礎を育てるまでに繋げられたかは難しい。
- ・園長の召天により教職員だけでなく、保護者、園児の中にも「神さまの国で微笑んでいる園長の姿」が生まれたと感じる。キリシト教保育で良かったと思えた。大切な人を見送る学びができた。

（保護者の評価 評価対象なし）

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3 ）

以前にも増してキリシト教の学びが出来ていた。学んだ先生たちが少しずつ聖書やキリシト教に対する理解がなされていた。牧師としての希望は日曜日の礼拝にもっと出席してほしい。

.....➤.....➤.....➤

◆改善の具体的方策

3 少人数保育

◆2022 年度の取り組み

- A・教師相互間の連携を密にし、協力体制を築きチーム保育をする。
- B・あたたかなまなざしの保育を通して、子どもたちは、安心感を抱き、愛されていることを感じている。
- C・幼稚園は教師との信頼関係を通して安心して生活できる環境づくりをしていると思いますか？（保護者アンケートQ2）

◆評価と分析

（教師の評価 4点満点中 平均点 A 3.5 B 3.3 ）

A

- ・必ず引継ぎをしっかりと伝え、保育をスムーズにやれるような連携ができたと思いました。
- ・クラス内では話し合いをしながらできたが、他のクラスのことが分かりにくいことが多かった。
- ・些細なことでも伝え合うことで子どもの成長を共有していった。
- ・クラスについては副担と連携を取りながら保育できた。ほかの教職員（主任）とも情報を共有して考えることができた。
- ・初めての二人担任という体制の中、お互いが担任であるからこそ様々な情報を丁寧に交換し合いながら、同じ意識をもって保育に当たることができた。
- ・園長が病院等で不在のことも多く、連絡を怠らないように気を付けた。

B

- ・自分を試してくる園児に対して、必死に向き合った。
- ・できるだけ子どもと視線を合わせ保育するように努めている。
- ・うまくいかない時も、そのチャレンジや過程に目を向け、安心してチャレンジしていくことができるよう努めた。
- ・登園を渋る子がいる中で安心して過ごせることを大切に保育した。
- ・一学期に比べ笑顔で登園できるようになった子や楽しそうに話をしてくれる姿があった。
- ・「私はこれでいいんだ。」と園児が思えるよう心と向き合った。

（保護者の評価 C 4点満点中 平均点 3.9 ）

C

- ・先生方の大きな愛・やさしさで毎日娘を安心して送り出すことができました。
- ・担任の先生が大変だと聞きますが、親にできることがあればひ言ってください。
- ・毎日楽しそうですし、色々教育していただいて助かります。先生達には感謝しかありません。

- ・一年間ありがとうございました。親子とも不安や心配なことも多いですが、先生方の優しさ、大きな愛に包まれ娘も幼稚園を楽しくまた、大好きな気持ちで通えました。
- ・いつも子どもたちのために安心して成長していける環境を作ってくださり本当にありがとうございます。親の相談にも快く親身になって聞いてくださり感謝しています。
- ・子どもたちのことをよく見てくださり、丁寧に接していただけるように思います。いつもありがとうございます。
- ・昨年7月から入園させていただき、本人も親である私も、やっと、心が落ち着くことができ、笑顔が増え、歌を歌ったり、聞いたりする時間が持てるようになりました。本当にありがとうございます。娘はお空に行った園長先生が大好きでした。副園長先生には入園前からずっとお世話になり、お忙しい中いつも快くご協力下さりありがとうございました。

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3 ）

先生方の横のつながりを感じる。事務も含め連携が深まれば一段と良いと思う。

.....➤.....➤.....➤

◆改善の具体的方策

C

愛溢れる幼稚園と暖かいお声掛けありがとうございます。保護者の皆様のお声を心の支えに日々過ごしています。保護者の皆さまと共に育ってまいりたいと考えております。これからもよろしくお願いいたします。

4 戸外遊びの充実

◆2022 年度の取り組み

A・戸外で友だちと思いきり身体を動かして遊ぶことを通して元気で丈夫な体作りをする。

(保護者アンケートQ3)

B・楽しく充実した遊びを通して、一人ひとりの園児が主体的に活動し、創造力を養い、自分で判断したり、行動したりすることができるように育てる。

◆評価と分析

(教師の評価 4点満点中 平均点 A 3.5)

A

- ・加配についている園児と一緒に走ったり、ボルダリングをしたりした。
- ・ひよこ組では追いかけて滑る台などたくさん遊べてよかった。
- ・子どもの体調を考慮し、外遊びを調整することもあったが、天気のいい日には午前・午後に外遊びをしたり、雨天時も体を動かすゲームなど取り入れた。
- ・園庭に出て遊ぶことのほかに、遊戯室で走って体を動かす時間を作ったりいろいろなところで散歩に出かけて歩く経験をしたり、体作りができたと思う。
- ・行事練習等がないときは、時間のある限り、おひさまの光を浴びていっぱい遊べるようにした。
- ・外遊びでは今までなかった怪我(一人で不意に転び医師の診察が必要な怪我)が2件もあり見守りと初期対応の重要性を痛感する。

(保護者の評価 4点満点中 平均点 3.9)

A

- ・毎日たくさん体を使って楽しかったようです。
- ・楽しい遊びを考えやらせてくださり、先生方に感謝しております。
- ・コロナ禍でもたくさん体を動かしていただき子どもたちも楽しんでいる様子だった。
- ・天気の良いとき外遊びがありとても良いが、歩く機会が少ないので園外への散歩が増えると良い。
- ・参観の際に戸外遊びも見られると嬉しいです。
- ・年長児学校登校へ向けて散歩の時間がもう少しあると嬉しい。
- ・雪が降る日外遊びができなくて室内ばかりだと言ったことがあった。雪でも外で遊べたらと思います。
- ・外でもっと遊んでほしいです。

B (教師の評価 4点満点中 平均点 B 3.3)

- ・加配としてなるべく一緒にやっていることに意識がむくよう向き合った。
- ・園児に対して大切にしていることを園だけでなく、保護者と共有した。保護者の方が意図的に外遊びを取り入れてくださるなど共有の大切さを認識した。

- もっと子どもが創造し、遊び込めるような環境作りは課題があるように思う。
- 様々な経験をするために、失敗しそうな時には、チャレンジしたことを認め、再チャレンジのために一緒にアイデアを出した。
- 一年間で遊びの中で様々な経験をし、その場面に応じてどのような行動をしたら良いか学ぶことができたと思う。
- やりたい遊びを見つけて熱中する子も多い中、遊べない子も数人いた。遊び込める遊具や、製作するなど工夫できたらよかった。

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点 4 ）

先生方が子どもたちと伸び伸び遊べるよう様々な工夫をした方が良い。園外保育をさらに増やせたら一段と良いと思う。

・・・・・・・・・・➤・・・・・・・・・・➤・・・・・・・・・・➤

◆改善の具体的方策

園外散歩の件

お散歩などの計画は、天気によって左右されないように日にちを決めず一週間単位で行いなるべく実施できるようにしています。

夏の熱中症の危険性、秋の停滞前線により計画していましたが実施できない時期がありました。

次年度もあきらめず計画をたてていきます。

戸外遊び参観の件

23 年度 6 月の参観では、天気が良ければ戸外遊びも見えていただけたと考えています。

戸外遊びを増やしての件

コロナ禍では、何とか学級閉鎖等を予防したいと体調管理を務めたため、戸外に出る機会が減ってしまったかもしれません。次年度は戸外遊びをしてまいります。

5 表現あそび

◆2022 年度の取り組み

- A・感じたことや考えたことを表現する豊かな感性を育む。
- B・歌やリズム表現・製作活動などを通して、自分らしくのびのびと表現したり、友だちと合わせたりする喜びを味わえる環境作りをする。
- C・幼稚園では歌やリズム表現・製作活動などを通して、子どもたちがのびのびと表現を楽しむ環境作りをしているか。(保護者アンケートQ4)

◆評価と分析

(教師の評価 4点満点中 平均点 A 3.4 B 3.3)

A

- ・今表現が苦手又はわからない子が多いため、日々の生活少しずつ子どもにおろし、丁寧に持って行った。
- ・歌・リズム・体操が好きなクラスだったのでたくさんできてよかった。
- ・お互いの考えや、アイデアを共有する時間を設けた。
- ・行事前にコロナによる学級閉鎖があり練習の期間も短かったが、子どもたちが楽しんで表現できたと感じる。
- ・子どもの気持ちを言語化して伝え気持ちを言葉でも表現できるようサポートした。
- ・感性を育てられてはいるが、「豊か」というより個々の個性の中で表現されていたと感じる。

B

- ・クリスマス会の合奏を通して友だちと合わせることの難しさと楽しさを知り、表現遊びを楽しんでいると思う子が増えた。
- ・発表以外にも、歌を歌う楽しさを感じ、自然と歌いだす子どもの姿が見られた。
- ・クラスでの活動を取り入れながら伸び伸び発表できる環境作りができた。
- ・製作活動では完成系の決まったものを作ることが多かった、それぞれのやり方で個性の出る製作遊びなどをもっとしてみたいと思う。今年度は楽器に触れる機会も少なかったと反省している。

(保護者の評価 C 4点満点中 平均点 3.8)

C

- ・季節の歌や手遊びを教えてもらおうと家で教えてくれたり、口ずさんでいます。
- ・家でもよく歌うようになりました。
- ・お友だちと歌ったり表現することで、自分を表現できるようになったと思う。

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点 4 ）

先生たちは子ども達の個性を良く認識してその個性を伸ばそうと努力していた。その結果が運動会やクリスマス会、思い出会などの発表に顕著に表現されていた。

.....➤.....➤.....➤

◆改善の具体的方策

異年齢保育について

コロナも落ち着けば戸外遊びは異年齢保育となります。以前のようなにぎやかなグラウンドや園庭に戻れるよう努力していきます。

6 安全教育

◆2022 年度の取り組み

- ・避難訓練、交通安全指導、健康安全指導を通して安全に対応する意識を高める。
- ・幼稚園は避難訓練や交通安全指導等を計画的に実施して、子どもの安全に対する意識を高めていると思いますか。（保護者アンケートQ5）

◆評価と分析

（教師の評価 4点満点中 平均点 3.4 ）

- ・水分補給をこまめに行い、水筒の中身の量の変化も観察し、健康に過ごせるよう配慮した。
- ・休みがちな家庭への個別の支援について、主任と情報を共有し生活リズムの改善を図った。
- ・避難訓練は、ひよこなりに真剣に行っていたと感じる。
- ・ひよこが車道を歩く機会はお花のお届けくらいだった。
- ・就学に向けて、交通のルールを散歩のたびに伝えることができた。
- ・散歩の機会が多い中、交通安全指導を丁寧に伝えることができた。
- ・交通安全指導は日々声掛けをし、子どもたちも意識ができたと思う。
- ・コロナ禍で総合福祉センターに移動することができなかった。もしも停電を伴う大きな地震の場合、丈夫な園舎だが、電源の確保が課題と考え、園長と相談しバッテリーを購入することになった。

（保護者の評価 4点満点中 平均点 3.9 ）

- ・訓練後自宅で「〇〇するんだよ」と教えてくれます。毎月の訓練でしっかり身につけているんだなと思います。

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3）

避難訓練は立ち合っていないため評価できないが、コロナ禍になって適切な対応をしていたと思う。

・・・・・・・・➤・・・・・・・・➤・・・・・・・・➤

◆改善の具体的方策

大規模な地震等の際の避難先の件

コロナが落ち着いてくると、福祉センターへの避難も視野に入っていきます、保護者の皆さまも場所の確認はしておいてください。なお非常時用のバッテリーを購入し、いつでも使えるよう準備しています。

7 食育

◆2022 年度の取り組み

- A・食事のマナーを通して、左右の優位性、指先の発達、姿勢の保持など体の健全な育成を図る。
- B・感謝する心・畑での栽培や収穫や調理員との関わりを通して、食に対する関心を持ち、感謝する心を育てていると思いますか。
- C・幼稚園は栄養バランスやカロリーを計算した自園給食を通して、何でも喜んで食べる子どもを育てていると思いますか。（保護者アンケートQ6）
- D・幼稚園は畑での栽培や収穫や調理員との関わりを通して、食に対する関心を持ち感謝する心をそだてていると思いますか。（保護者アンケートQ7）

◆評価と分析

（教師の評価 4点満点中 平均点 A 3.5 B 3.4 ）

A

- ・入園したころに比べよく食べるようになった。スプーンなどの使い方はまだ不十分なので次のクラスで継続が必要。
- ・感染予防ということで黙食の一年ではあったが、その分食事に集中し、今食べている物、食べるルール、マナーを考えられた。
- ・食事のマナー（スプーンの持ち方や姿勢保持）子どもたちが習慣にできるように援助した。
- ・利き手については家庭との連携を行い、給食時や制作時など必要な時に援助できた。
- ・指先の発達がゆっくりで箸の持ち方が不器用な子がいたが、黙食を徹底していたため近くでの指導ができなかった。代替策として、距離をとってではあったが、声掛けは行った。
- ・給食後からごちそうさまの 15 分間の待ち時間で、園児が安心して友だちと関わりを楽しめたと感じる。

B

- ・預かり保育のおやつが手作りで、何からできているか話すことができた。
- ・ただ育てるだけではなく、その成長の過程に興味を持ち口に入れるまでにどう育てているのか、みんなで共有していくことができた。
- ・食事の前のお祈りで神さまや調理員の先生方への感謝の気持ちを育てていけるよう意識した。
- ・育てた野菜のクッキングをして、育てることと味わうことの喜びを感じることができた。
- ・様々な野菜を作り、自分自身も野菜の生長を楽しむことができ、子どもたちも喜びを分かち合い楽しみながら育てることができた。
- ・畑の草むしりを先生が頑張っていたが、それでも草だらけになってしまった。また、収穫後の土づくりはみんなで対応した方が良いかもしれない。

(保護者の評価 4点満点中 平均点 C 3.9 B 3.9)

C

- 幼稚園の給食が大好きで家では食べないものをおかわりすると聞きうれしいです。
- 毎朝給食の先生に「今日の給食は何ですか？」と聞くのが楽しみでした。忙しいのにありがとうございました。
- 家の食事より給食の方がおいしいといえます。野菜も上手に食べられるよう調理してくださっていると思う。
- 給食のおかげで家でも食べる量が増えてうれしいです。
- 調理の先生と園児の交流の状況を知れたらうれしい。

D

- 野菜を作ることは子どもにとって、とても良い影響だと思う。

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 4)

毎日子どもたちのことを考えたおいしい給食を提供している。

.....➤.....➤.....➤

◆改善の具体的

8 家庭との連携

◆2022 年度の取り組み

- ・クラスや子どもの様子、自分の考え方、保育のポイントなどをクラスだよりや電話等で知らせ理解を得る。
- ・幼稚園はクラスや子どもの様子や保育のポイントなどを日々の会話やクラスだより、電話、オクレンジャー、動画配信、ホームページ等で分かりやすく知らせていると思いますか。（保護者アンケートQ8）

◆評価と分析

（教師の評価 4点満点中 平均点 3.5 ）

- ・ドキュメンテーションを取り入れることで親子の会話のきっかけになってよかった。
- ・個別での面談等しっかりとお話できる機会を多く設けた。伝わりにくい点は映像も活用し、具体的に姿を共有した。
- ・クラスだよりに写真を貼ることで視覚的にもわかりやすく伝えられるよう工夫した。活動内容もドキュメンテーションで掲示することができた。時間を作り継続していきたい。
- ・家庭の相談について副担と協力できた。自分自身も、保護者の方との対応能力を伸ばしたいと思う。
- ・クラスの保護者から一日のやったことをボードで表示してほしいと声があった。来年度はできるだけ対応したい。

（保護者の評価 4点満点中 平均点 3.8 ）

- ・ドキュメンテーションはわかりやすくとても良かった。今週の活動が写真とコメントで分かりやすかった。
- ・降園時の際にいつも幼稚園での様子を教えていただき又、ホームページを楽しみにしています。
- ・クラスだよりを楽しみにしています。その日の子どものちょっとした面白いエピソードなど降園児に聞けるのが嬉しいです。
- ・ホームページのマメさ、素晴らしいと思います。先生方いつもありがとうございます。
- ・園での様子を日々連絡ノートやおたよりを通して教えていただけた。また、登園・降園時の先生方の会話がとてもありがたかった。
- ・クラス活動の掲示があればぜひ見たいと思う。掲示板があると担任と話せなくとも活動を共有できてよい。
- ・玄関に飾ってあるので、クラスだよりに入れていただくかもっと見えるところに飾ってほしい。

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3 ）

保護者との連携は難しいことが多く大変だと思いますが、全ての先生たちは保護者との良い関係づくりをすべて努力していたと見受けられます。

.....➤.....➤.....➤

◆改善の具体的方策

掲示場所の件

ドキュメンテーションの製作は時間がかかるため

毎週とはいきませんが、好評でうれしく思います。登園場所も含め保護者の皆さまに見ていただける掲示板の場所を検討していきます。

9 子育ての支援

◆2022 年度取り組み

- ・未就園児への園開放や預かり保育などを通して子育ての支援をする。
- ・幼稚園は子育ての支援をしていると思いますか？（預かり保育、夏の預かり保育、未就園児の園開放、子育て相談など）（保護者アンケートQ9）

◆評価と分析

（教師の評価 4点満点中 平均点 3.4 ）

- ・園開放での挨拶を心掛けた
- ・回数が多く担当の先生が大変だ。コロナが落ち着けば園児と外で遊ぶなど交流が出来たらと思う。
- ・今年度から園庭解放を土曜日に行った。父親の参加しやすさの声が聞けたため継続した方が良い。
- ・こひつじ広場の実施回数と時期は良かったが園庭解放は検討が必要と思う。
- ・園庭解放をスタートする時期は、在園時の慣れてきた頃からの方が良いと思った。
- ・ここ数年、「大町幼稚園を選ぶ」というよりは遊び場を求めてきている。新しい形で子育て支援があればなおよい。
- ・昨年度のコロナ禍による予約定員制と回数の減少の反省から、主体的に新しい視点で新しい試みをしたと思う。
- ・急なお預かり保育も預かりの先生と連携し対応できた。
- ・保護者と園児の姿を共有する中で、困りごとや悩みを共有したが、まだまだ解決するには時間と経験不足を感じた。
- ・丁寧な対応が必要な家庭が何件もあり、教職員の保育時間外の大きな割合を占めた。（大切にしたいので丁寧に向き合いたかった。）複雑化している点からも外部との連携が必須で、子育て支援課・教育委員会・スクラムネットさんに大変お世話になった。

（保護者の評価 4点満点中 平均点 3.8 ）

- ・夏休みは長く、お友だちに会えない日が続くのでひまわりクラブはとても助かります。
- ・入園の際、園開放、先生方にお話を聞き昨年お世話になりました。
- ・不規則なスケジュールであっても、対応していただいたこと感謝しています。
- ・いつも遅くまで預かっていただいて毎日助かっています。急な土曜日保育のお願いをしても対応して下さり感謝です。
- ・仕事の残業や急なおあずかりでも快く対応して下さり感謝しております。
- ・仕事や上の子の学校の都合で急な預かりでも嫌な顔をせず引き受けてくださり本当にありがたいです。毎日お迎えに行ってもその日の様子を詳しく教えてください、よく見てくださっているだと安心します。どの先生と話しても子どもを大切に思ってくれていることが

伝わります。そんな先生方ばかりなので、こちらも何かできることでお返ししたいと思い、来年度の委員長をお引き受けました。今後も保護者と園で協力して子どもたちのためにいろいろしてあげたらと思います。

- 長引くコロナ禍、園長の他界と類を見ない大変な年だったにも関わらず岑村先生はじめ先生方には最善を尽くす保育に当たっていただき感謝しかありません。我が家はこれから何年もお世話になる予定ですので、これからもよろしくお願いいたします。
- コロナ等で難しい面もあると思いますが、もう少し気軽に利用できる延長保育・預かり保育だと良いと思いました。園開放の予約制は足が遠のきました。
- 一号の子も長期休みの預かりをしていただけると良いなと思います。少しでも働きたいと思っている方も多いのでそうなら助かります。

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3 ）

園庭解放や毎日の預かり保育等未就園児への対応はよくできていると思う。今後は園児数の減少が見込まれるためこの部分は特に大切な業になると思うので、細やかな対応が必要になるのではと思う。

.....➤.....➤.....➤

◆改善の具体的方策

1号さんの長期休み中に預かりの件

制度上、一号さんのおあすかりを増やすことができません申し訳ありません。おひさまクラブを利用いただけると幸いです。なお、勤務時間等の変更で2号への移行手続きができる場合は事務にお声をかけください。次年度の園開放はコロナも落ち着けば対応が変わってくるかと思います。ご利用していただきやすい体制を模索してまいります。

10 幼稚園運営

◆2022 年度の取り組み

A・日々の保育記録・教材準備・連絡帳の記入・環境整備・事務などの効率化を図る。

B・年間計画・月案・週案・日案等を通して、計画的に保育に当たる。

◆評価と分析

A（教師の評価 4点満点中 平均点 3.9 ）

- ・自分のできる園庭等の草むしりを意識し、環境設定を大切にした。
- ・連絡帳はその日に返せるよう努力したが、人数が増えると難しいと感じた。できるだけ早く対応できるようにノートだけではなく電話または直接伝えることを意識した。
- ・二人担任は仕事も分担できるため、効率よくこなすことができた。
- ・保育記録にも写真を載せることでさらに工夫していきたい。
- ・正確に書類を作成した上で散歩等天候に合わせ、日にちを流動的に動かし対応する先生の姿があった。

B（教師の評価 4点満点中 平均点 3.4 ）

- ・保育にはいる時、担任との一日の予定の共有から一日の流れがスムーズに動けるように対応している。
- ・この日にこれをやりたいと計画していてもコロナの学級閉鎖が重なり思うように行えず残念だった。
- ・行事が多くあるため保育内容が盛り沢山な中、見通しをもって丁寧に導入を行うことができた。
- ・時々、思い付きでその日のやることを決める日もあった。
- ・個性の豊かな子どもたちに対し、行事を少し見直すことで遊ぶことに集中できるよう年間計画の見直しが必要と感じる。

（保護者の評価 保護者の評価項目の対象外）

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点 4 ）

2023年度から新チャプレンの体制になる。これまでと違った面も多いと思うがより良い幼稚園運営がなされることを期待する。

.....➤.....➤.....➤

◆改善の具体的方策